



発行所  
山形新聞社

〒990-8550  
山形市旅籠町2-5-12  
総合案内 023(622)5271  
読者センター 023(622)5666  
(平日9時30分～17時30分)  
(c)山形新聞社2017

2017年  
4月7日  
〈金曜日〉

電子  
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた  
ニュースオンライン  
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ  
yamagata-np.jp  
/mobile/



詳しくは山形新聞を  
ご覧ください。

# 米シリアへの巡航ミサイル攻撃

## 地中海からトマホーク50発

【ワシントン共同】米主要メディアは6日夜、複数の米軍当局者の話として、シリア北西部で猛毒のサリンとみられる化学兵器が使用され、多数の死傷者が出た空爆への対抗措置として、地中海に展開する2隻の軍艦からアサド政権の空軍基地に向け、巡航ミサイルのトマホークを少なくとも50発を発射したと報じた。

### 化学兵器空爆に対抗

これに先立ち、ティラーソン米 국무長官は「アサド政権に責任がある」と断定。「アサド大統領は国民を統治する役割を失うだろう」と述べ、大統領退陣にこだわらないとしてきた従来の方針を転換した。

シリアへの武力行使に慎重論があったが、強硬路線を取ることでアサド政権の後ろ盾となっていたロシアに圧力をかける狙いがある。トランプ米大統領は5日、アサド政権軍は「多くの一線を越えた」と非難。「シリアとアサド大統領に対する私の考えは大きく変わった」と語り、アサド氏を退陣にこだわらないとの政策を修正する可能性を示唆していた。6日にはアサド政権が退陣すべきか記者団に問われ「何かが起きるべきだ」と表明した。11日からロシアを訪問するティラーソン氏は「アサド政権の退陣には国際社会の努力が必要だ」と強調、「ロシアはアサド政権への支持を続けるのか慎重に検討することが重要だ」と語った。



シリアへの巡航ミサイル発射後に話すトランプ米大統領  
11日、米フロリダ州パームビーチ（AP共同）



シリアへの武力行使に慎重論があったが、強硬路線を取ることでアサド政権の後ろ盾となっていたロシアに圧力をかける狙いがある。トランプ米大統領は5日、アサド政権軍は「多くの一線を越えた」と非難。「シリアとアサド大統領に対する私の考えは大きく変わった」と語り、アサド氏を退陣にこだわらないとの政策を修正する可能性を示唆していた。6日にはアサド政権が退陣すべきか記者団に問われ「何かが起きるべきだ」と表明した。11日からロシアを訪問するティラーソン氏は「アサド政権の退陣には国際社会の努力が必要だ」と強調、「ロシアはアサド政権への支持を続けるのか慎重に検討することが重要だ」と語った。

購読・試読のお申し込みは▶  
フリーダイヤル 0120-81-8040